

「誰のために」「何のために」学ぶのか？

～ 学習効果を高めるための 3 つの方策 ～

秦野高等学校長 神戸秀巳

あなたは「できない理由を考えるより、できる方法を考える」努力をしていますか？「でも」「だって」「どうせ」のマイナス言葉を多用していませんか？「限界」だと勝手に思いこんでいませんか？学習に対するモチベーションと学習効果を高める「確実な方法」をここに記します。「前進のためのキーワード＝本気・実践・気づき」で、ワクワクする人生を「自らの意思で」「自らの力で」つかみとってください。期待しています！！

◆時間の管理

- 時間の 3 点固定 ※生活リズムが安定し、体・脳の疲れを最小限に抑える効果がある
 - ・起床時刻
 - ・家で学習を始める時刻
 - ・就寝時刻
- すきま時間の活用 ※集中力が高まる
 - ・電車内
 - ・朝、家での 10 分間
 - ・朝、学校に着いてからの 10 分間
 - ・寝る前の 10 分間
 - ・登校途中の時間 など
- 忘却曲線の理解 ※忘れる前にもう一度確認することで、忘れる割合が激減
 - 何の対策もとらないと
 - ・ 1 時間経過で 56% [半分以上] 忘れる ★授業終了時にポイント 3 つを書き記す
 - ・ 1 日 (24 時間) 経過で 74% [3 / 4 も] 忘れる ★明日に持ち越さない！

◆計画の立案

- | | |
|--|-------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日やるべきことは何か？ ・ 明日やるべきことは何か？ ・ ここ 1 週間でやるべきことは何か？ | <u>毎朝必ず確認すると何が起こるか？</u> |
|--|-------------------------|

頭の中にスケジュール帳ができる

⇒ 未来のあのことを実行するために、今何をしようか？ = 未来起点

未来起点は魔法のツール ※「バックキャストイング」とも言う

- 毎日のワクワク感が増え、未来への期待感が高まる。
- 対処すべき事柄についての優先順位が明確になり、とまどうことがほぼなくなる。
- 時間の使い方がうまくなり、「自分のやりたいこと」に使える「すきま」「ゆとり」が生まれる。

◆目的の明確化

- 「誰のために」学ぶのか？
 - ・ 自分のため ⇒ 社会のため (社会貢献) ⇒ さらに、○○のため
- 「何のために」学ぶのか？
 - ・ 自分のやりたいことを実現させるため ⇒ さらに、将来の可能性を広げるため
- ★大学・短大・専門学校 (合格、入学) は (ゴール)
- ◎通過点 であって、○目標 にはなっても、×目的 にはなっていない

人類史上の進歩のほとんどは、不可能を受け入れなかった人々によって達成された。

[ビル・ゲイツ]